

すぎのこだより

第86号

作：あすひ



◆ CONTENTS ◆

『理事長コラム』……………②

『辞令交付式・すぎのこ改修工事』……………③

『各事業所の令和5年度の抱負』……………④⑤⑥

『岩舟駅伝・職員リレー・みんなの部屋』……………⑦

『守る会・寄付・ボランティア・なんでも掲示板』……………⑧



【すぎのこ会HP】
<https://www.suginokokai.or.jp>

Instagramはこちら👉👉👉
ホームページと併せて、是非ご覧ください。





KEEP ON GOING！（前に進み続けよう！）



《理事長 岩崎 好宏》

3月28日に、新型コロナウイルス第8波のため延期されていた理事・監事・評議員・第三者委員・評議員選任解任委員による「全員協議会」を開催し、令和4年度事業の進捗状況と今後の課題についてご報告を行いました。

続いて、「理事会」を開催し、令和5年度の事業計画・予算等のご承認をいただきました。

令和5年度は、光熱費を始め、食材費や日用品などの更なる物価高騰が予想され、非常に厳しい経営環境が予想されます。そのような中ではありますが、昼夜を問わず利用者支援にあたっている職員の生活を支えるため、4月からの給料のベースアップを行うための給与規程等の改正についてのご承認もいただきました。

職員の皆さんには、高いモチベーションで質の高いサービスを提供していただくとともに更なるスキルアップにも取り組んでほしいと思います。

理事会が終了し、新年度も大所高所から指導いただきたいと思っておりました岩崎俊雄会長が、3月29日に体調を崩され入院。そして、この原稿を準備していた4月14日、薬石効なく75年の生涯を閉じました。福島県いわき市の生まれで、妻の実家である旧岩舟町に25歳の時に転居し改姓。学校を卒業し行く場所に困っていた障害者と保護者の皆さんの想いを受けて、友人・知人も少ないこの地において28歳の若さで、すぎのご学園を立ち上げました。大変な苦勞があったことと思いますが、多くの方々のご支援があり、夫婦二人三脚で50年間、休むことなく、まさにライフワークとして福祉の仕事を続けてきました。「受けたご恩は石に刻み」とよく口にしておりましたが、皆さんの期待に応えるため、そしてご恩返しのため、生涯現役を貫きました。

4月23日に葬儀・告別式を行いながら、故日野原重明医師のメッセージが浮かびました。「感謝に満ちた気持ちで、キープオンゴーイング！ キープオンゴーイング！ 前進また前進を私たちは続けなくちゃいけない」。

会長も12年余り辛いがん治療をしながら、働く（傍楽）喜びや人の優しさに感謝を感じて、常に前に進み続けました。会長の想いをつなぎながら、すぎのこ会は歩み続けます。 合掌

～理事長のInstagramより～



新年会



節分



春の訪れ

◎再度、アクセスして楽しみください。現在、ほぼ毎日更新しています。

辞令交付式

4月1日、お天気にも恵まれ、令和5年度の辞令交付式を執り行いました。統括、事務局長、各所属長立ち合いのもと、第1部は昇格者及び出向職員、第2部では新採用職員14名、登用・経験者採用4名の職員へ理事長より辞令が交付されました。

また、新採用、登用・経験者採用の皆さんは、研修後に岩船山にある法人慰霊碑にも参拝しました。これから、すぎのこの会の想いをつないでいくための一員として頑張ってくれることを願っています。



すぎのこ増改築工事竣工

すぎのこ学園開設から47年の歴史を重ねてきた建物は、令和5年2月末に記念碑的本館を改修し、作業室を増築し新生すぎのこに生まれ変わりました。白亜の容姿からブラウンを基調とした姿に衣替えし、外壁に時計を着けました。また、災害時等緊急時に対応できるよう、バス・トイレ居室を設けました。変えてはならないもの、時代の必要に応じて変えていくものは何か。そんなことを考えさせられます。そして、外構工事や内部整理など完了していない現状の中、岩崎俊雄会長がご逝去されました。会長と一緒に地元の皆さんへお披露目することが叶わず、本当に申し訳なく存じています。会長の御遺志は法人設立理念にあると思っていますので、利用者が生きがいを持っていただけるよう、心を込めたすぎのこであり続けるよう、理念の一つ一つに様々な果実が実っていくよう、明日につないでいく「すぎのこ」にご期待ください。

所長補佐：長谷川孝範



◎介護福祉士合格

川田 良実 (ひのきの杜)
大塚 将斗 (ひのきの杜)
井上 真樹 (ひのきの杜)
砂生 香月 (共生)
大島 亜弥 (あすひ)
大谷 紀子 (みすぎの郷)
佐原利恵子 (愛晃の杜)
沼尾 朱美 (愛晃の杜)
神山 育子 (のあの杜)

◎社会福祉士合格

津田 貴央 (共生)
瀬下 祐生 (はまなす)



*栃木市社会福祉協議会会長表彰

石塚 ひろ (もくせいの里) 齋藤ミツ子 (花水木)
堀井 則子 (みずほの家) 稲葉 佳代 (あすなろ)
佐々木邦子 (みずほの家) 田中 弘美 (ひまわり)
石嶋美智子 (みずほの家)





各事業所 ～令和5年度の抱負～



— ひのきの杜 —

ひのきの杜の今年の目標は「和」です。違いを認め合う職場、少数意見をすくい上げられる組織風土を目指します。今年度は虐待防止・権利擁護意識の強化、余暇活動や個別外出の充実を重点目標に掲げています。フレッシュな新任職員とともに、利用者本位の楽しい生活を提供します。

課長：秋澤慎也



— もくせいの里 —

令和4年度は新型コロナウイルスに多くの利用者さん、職員が感染し大変な思いをしました。いろいろな意味で我慢の年でした。令和5年度の皆の願いは一つです。「健康」。健康であれば食事も美味しい！健康であればなんでもできる！

ということで利用者さん職員共に、健康で過ごすために、施設一丸となり努力していきます。

課長：市野孝



— はまなす —

新年度が始まりました！新しい職員や利用者さんが入り、以前に増して賑やかになっています！新しい環境になりましたが、日々の活動を通して、利用者さんと職員が一緒になって楽しめるはまなすを目標にしていきます。

支援主任：瀬下祐生



— のあの杜 —

集団活動では、昨年行ったコアキッズ体操・音楽遊びを更にレベルアップして、楽しく体幹を鍛える活動を取り入れていきたいと思えます。個別療育では、一人ひとりの目標を設定し、集中できる環境を整え取り組んでいきたいと思えます。日々の活動の様子を「見える化」しながら、保護者様に分かりやすくお伝えしていきます。

支援主任：久保璃歩



— やまと —

今年のやまとの目標は、「心機一転」です！新たなメンバーになったこと、コロナによる規制が緩和されることの2点から、この目標を設定しました。お出掛け、テイクアウト、イベントなどなど…利用者さんはもちろんのこと、私たち職員も楽しいと思えることを取り入れます。そして、利用されるみなさんが、「楽しい・行きたい」と思っただけのやまとを、改めて作っていきますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします♪

支援主任：土屋知美



— けやきの家 —

けやきの家では、新しい仲間を2名迎え、令和5年度をスタートしました！(^^)！泣いたり笑ったり、どんな一年になるでしょうか?!お互いに思い合い、助け合える場所にしていきたいと思えます。

支援主事：片野恵美

